

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／本科・SG	教科／科目	社会／歴史総合	時間数	週2時間
1学期					
単元名	第1章 近代化への胎動			使用教材	
単元の概要	「18世紀ヨーロッパ・アジアの社会・経済活動」「アジア諸国間の関係」「アジアとヨーロッパの関係」などの考察・表現を通じて、「18世紀の交流がヨーロッパにおける近代化の原動力になった」ことを理解する。			『歴史総合』(実教出版)	
評価規準				単元内容	
究	A3 本單元に関して、現代世界とのつながりを見出すことができる。	B3	C3	①PBL型授業 ②江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 ③江戸時代の生産・流通と諸改革 ④幕政の改革と東アジア世界	
活	A2 18世紀のアジアとヨーロッパの社会的・経済的関わりを表現・説明できる。	B2 本單元から問いを設定できる。	C2		
礎	A1 18世紀のアジア・ヨーロッパ社会の内容を理解している。	B1 本單元に関する疑問を持てる。	C1		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考	〈留意点・評価〉 ・単元ごとに振り返りシートを作成し、記入する。 ・PBL活動から一定の割合を定期試験で出題する。 ・PBL活動の評価は、活動内容またはレポートで行う。 ・個人作業の終了後は、3人から4人のグループ活動を適宜実施する。	

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／本科・SG	教科／科目	社会／歴史総合	時間数	週2時間
1学期					
単元名	第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成				使用教材
単元の概要	「産業革命とその影響」「政治変革の特徴」「社会の変容」などの考察・表現を通じて、「国民国家の形成」を理解する。				『歴史総合』(実教出版)
評価規準				単元内容	
究	A3 本単元に関して、現代世界とのつながりを見出すことができる。	B3	C3	①イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 ②フランス革命とウィーン体制 ③アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 ④オスマン帝国の衰退とロシア ⑤アヘン戦争の衝撃と日本の開国 ⑥江戸幕府の滅亡	
活	A2 欧米の諸革命と国民国家形成のつながりを表現・説明できる。	B2 本単元から問いを設定できる。	C2		
礎	A1 「イギリス産業革命」「アメリカ独立革命」「フランス革命」「1848年革命」の流れおよび内容を理解している。	B1 本単元に関する疑問を持てる。	C1		
				〈留意点・評価〉	
				・単元ごとに振り返りシートを作成し、記入する。 ・PBL活動から一定の割合を定期試験で出題する。 ・PBL活動の評価は、活動内容またはレポートで行う。 ・個人作業の終了後は、3人から4人のグループ活動を適宜実施する。	
知性・知識		応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／本科・SG	教科／科目	社会／歴史総合	時間数	週2時間
1学期					
単元名	第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成			使用教材	
単元の概要	「欧米諸国のアジア進出とその影響」「日本の開国の背景と政治社会の変革」などの考察・表現を通じて、「日本における立憲体制と国民国家の形成」を理解する。			『歴史総合』(実教出版)	
評価規準				単元内容	
究	A3 本單元に関して、現代世界とのつながりを見出すことができる。	B3	C3	①イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 ②明治政府の諸改革 ③日本のアジア外交と国境問題 ④自由民権運動と大日本帝国憲法	
活	A2 海外情勢をふまえて、日本における国民国家の形成を表現・説明できる。	B2 本單元から問いを設定できる。	C2		
礎	A1 欧米諸国のアジア進出とその影響を、地域ごとに理解している。	B1 本單元に関する疑問を持てる。	C1	〈留意点・評価〉	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとに振り返りシートを作成し、記入する。</li> <li>・PBL活動から一定の割合を定期試験で出題する。</li> <li>・PBL活動の評価は、活動内容またはレポートで行う。</li> <li>・個人作業の終了後は、3人から4人のグループ活動を適宜実施する。</li> </ul>	

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／本科・SG	教科／科目	社会／歴史総合	時間数	週2時間
1学期					
単元名	第4章 帝国主義の時代			使用教材	
単元の概要	「列強間の関係の特徴」「日清戦争と日露戦争の背景と影響」などの考察・表現を通じて、「列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容」を理解する。			『歴史総合』(実教出版)	
評価規準				単元内容	
究	A3 本単元に関して、現代世界とのつながりを見出すことができる。	B3	C3	①PBL型授業 ②帝国主義の時代へ ③朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 ④日清戦争後の東アジア ⑤日露戦争と東アジアの変動 ⑥日本の産業革命	
活	A2 列強の帝国主義政策をふまえて、日本の外交政策の変化を表現・説明できる。	B2 本単元から問いを設定できる。	C2 C1を立証できる。		
礎	A1 各地域をめぐる列強の思惑と相関関係を理解している。	B1 本単元に関する疑問を持てる。	C1 第1章～第4章で設定した問いをもとに仮説を立てられる。	〈留意点・評価〉 ・単元ごとに振り返りシートを作成し、記入する。 ・PBL活動から一定の割合を定期試験で出題する。 ・PBL活動の評価は、活動内容またはレポートで行う。 ・個人作業の終了後は、3人から4人のグループ活動を適宜実施する。 ・章の終わりに、基礎的な語句の確認テストを実施する。 ・章の終わりに、C1・C2に関する発表を実施する。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年/コース	高1/本科・SG	教科/科目	社会/歴史総合	時間数	週2時間
2学期					
単元名	第5章 第一次世界大戦と大衆社会				使用教材
単元の概要	「ナショナリズムの動向と国際連盟の成立」「大衆の政治参加と女性の地位向上」などの考察・表現を通じて、「第一次世界大戦後の国際協調体制」「大衆社会の形成と社会運動の広がり」を理解する。				・『歴史総合』(実教出版)
評価規準				単元内容	
究	<b>A3</b> 教科書や配布資料をもとに、第一次世界大戦の背景や展開、戦後秩序の形成、民衆の反応などについて表現・説明できる。	<b>B3</b> この章で学んだ知識を現代世界に当てはめて考えることができる。	<b>C3</b> PBL型授業および第5章の内容に関する問いを、創造的に考えることができる。	①PBL型授業 ②第一次世界大戦 ③ロシア革命とソ連の成立 ④米騒動とデモクラシー ⑤ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ⑥アジアの民族運動 ⑦第一次世界大戦後の欧米諸国 ⑧ひろがる社会運動と普通選挙の実現	
活	<b>A2</b> 教科書や配布資料をもとに、第一次世界大戦の背景や展開、戦後秩序の形成、民衆の反応などについて理解している。	<b>B2</b> いくつかの共通点を組み合わせて、新しい考え方を作ることができる。	<b>C2</b> PBL型授業および第5章の内容に関する問いを、批判的に考えることができる。		
礎	<b>A1</b> 教科書や配布資料をもとに、第一次世界大戦の背景や展開、戦後秩序の形成、民衆の反応などについて知っている。	<b>B1</b> この章で学んだ知識から、他の場合にもあてはまる共通点を見つけることができる。	<b>C1</b> PBL型授業および第5章の内容に関する問いを、論理的に考えることができる。		
				〈留意点・評価〉	
				・単元ごとに振り返りフォームを記入する。 ・PBL型授業から一定の割合を定期試験で出題する。 ・PBL型授業の評価は活動内容で行う。 ・個人作業の終了後は、3人から4人のグループ活動を適宜実施する。	
知性・知識		応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／本科・SG	教科／科目	社会／歴史総合	時間数	週2時間
2学期					
単元名	第6章 経済危機と第二次世界大戦			使用教材	
単元の概要	「世界恐慌と各国への影響」「第二次世界大戦と戦後改革」などの考察・表現を通じて、「国際協調体制の動揺」「第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰」を理解する。			『歴史総合』(実教出版)	
評価規準				単元内容	
究	<b>A3</b> 教科書や配布資料をもとに、第二次世界大戦の背景や展開、新しい国際秩序、冷戦の構造などについて表現・説明できる。	<b>B3</b> この章で学んだ知識を現代世界に当てはめて考えることができる。	<b>C3</b> 第6章の内容および探究型授業に関する問いを、創造的に考えることができる。	①世界恐慌と各国の対応 ②ファシズムの時代 ③満州事変と軍部の台頭 ④日中戦争と戦時体制 ⑤第二次世界大戦の勃発 ⑥第二次世界大戦の終結 ⑦国際連合の成立と冷戦 ⑧日本占領と日本国憲法 ⑨朝鮮戦争と日本 ⑩探究型授業	
活	<b>A2</b> 教科書や配布資料をもとに、第二次世界大戦の背景や展開、新しい国際秩序、冷戦の構造などについて理解している。	<b>B2</b> いくつかの共通点を組み合わせて、新しい考え方を作ることができる。	<b>C2</b> 第6章の内容および探究型授業に関する問いを、批判的に考えることができる。		
礎	<b>A1</b> 教科書や配布資料をもとに、第二次世界大戦の背景や展開、新しい国際秩序、冷戦の構造などについて知っている。	<b>B1</b> この章で学んだ知識から、他の場合にもあてはまる共通点を見つけることができる。	<b>C1</b> 第6章の内容および探究型授業に関する問いを、論理的に考えることができる。		
	<b>知性・知識</b>	<b>応用・発展</b>	<b>創造的思考</b>	<b>〈留意点・評価〉</b> ・単元ごとに振り返りフォームを記入する。 ・探究型授業から一定の割合を定期試験で出題する。 ・探究型授業の評価はレポートおよびプレゼンテーションで行う。 ・個人作業の終了後は、3人から4人のグループ活動を適宜実施する。 ・第6章の終わりに、第5・6章に関する基礎的な語句の確認テストを実施する。 ・第6章の終わりに、C1・C2・C3に関するプレゼンテーションを実施する。	

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／本科・SG	教科／科目	社会／歴史総合	時間数	週2時間
3学期					
単元名	第7章 冷戦と脱植民地化			使用教材	
単元の概要	「脱植民地化とアジア・アフリカ諸国」などの考察・表現を通じて、「国際政治の変容」を理解する。			『歴史総合』(実教出版)	
評価規準				単元内容	
究	<b>A3</b> 教科書や配布資料をもとに、植民地独立の背景、冷戦の展開と各国への影響などについて表現・説明できる。	<b>B3</b> この章で学んだ知識を現代世界に当てはめて考えることができる。	<b>C3</b> PBL型授業および第7章の内容に関する問いを、創造的に考えることができる。	①PBL型授業 ②植民地の独立 ③米ソ両陣営の動揺 ④日本の国際社会復帰と高度経済成長	
活	<b>A2</b> 教科書や配布資料をもとに、植民地独立の背景、冷戦の展開と各国への影響などについて理解している。	<b>B2</b> いくつかの共通点を組み合わせて、新しい考え方を作ることができる。	<b>C2</b> PBL型授業および第7章の内容に関する問いを、批判的に考えることができる。		
礎	<b>A1</b> 教科書や配布資料をもとに、植民地独立の背景、冷戦の展開と各国への影響などについて知っている。	<b>B1</b> この章で学んだ知識から、他の場合にもあてはまる共通点を見つけることができる。	<b>C1</b> PBL型授業および第7章の内容に関する問いを、論理的に考えることができる。		
				〈留意点・評価〉	
				・単元ごとに振り返りフォームを記入する。 ・PBL型授業から一定の割合を定期試験で出題する。 ・PBL型授業の評価は活動内容で行う。 ・個人作業の終了後は、3人から4人のグループ活動を適宜実施する。	
知性・知識		応用・発展		創造的思考	

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／本科・SG	教科／科目	社会／歴史総合	時間数	週2時間
3学期					
単元名	第8章 多極化する世界			使用教材	
単元の概要	「軍備拡張や核兵器の管理」などの考察・表現を通じて、「世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会」を理解する。			『歴史総合』(実教出版)	
評価規準				単元内容	
究	<b>A3</b> 教科書や配布資料をもとに、冷戦終結への過程や冷戦終結後の各国の動向などについて表現・説明できる。	<b>B3</b> この章で学んだ知識を現代世界に当てはめて考えることができる。	<b>C3</b> 第8章の内容に関する問いを、創造的に考えることができる。	①石油危機と世界経済 ②緊張緩和から冷戦の終息へ ③日本の経済大国化	
活	<b>A2</b> 教科書や配布資料をもとに、冷戦終結への過程や冷戦終結後の各国の動向などについて理解している。	<b>B2</b> いくつかの共通点を組み合わせて、新しい考え方を作ることができる。	<b>C2</b> 第8章の内容に関する問いを、批判的に考えることができる。		
礎	<b>A1</b> 教科書や配布資料をもとに、冷戦終結への過程や冷戦終結後の各国の動向などについて知っている。	<b>B1</b> この章で学んだ知識から、他の場合にもあてはまる共通点を見つけることができる。	<b>C1</b> 第8章の内容に関する問いを、論理的に考えることができる。		
				〈留意点・評価〉	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとに振り返りフォームを記入する。</li> <li>・PBL型授業から一定の割合を定期試験で出題する。</li> <li>・PBL型授業の評価は活動内容で行う。</li> <li>・個人作業の終了後は、3人から4人のグループ活動を適宜実施する。</li> </ul>	
知性・知識		応用・発展		創造的思考	

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／本科・SG	教科／科目	社会／歴史総合	時間数	週2時間
3学期					
単元名	第9章 グローバル化と現代世界			使用教材	
単元の概要	「ソ連の崩壊と地域紛争の激化」「グローバル化の進展と影響」などの考察・表現を通じて、「冷戦終結後の国際社会の変容と課題」を理解し、「現代世界における諸問題の解決策」を提示する。			・『歴史総合』(実教出版)	
評価規準				単元内容	
究	<b>A3</b> 教科書や配布資料をもとに、冷戦後の地域紛争やグローバル化の動きなどについて表現・説明できる。	<b>B3</b> この章で学んだ知識を現代世界に当てはめて考えることができる。	<b>C3</b> 第9章の内容および探究型授業に関する問いを、創造的に考えることができる。	①地域紛争と対立 ②国際秩序の変容 ③探究型授業	
活	<b>A2</b> 教科書や配布資料をもとに、冷戦後の地域紛争やグローバル化の動きなどについて理解している、	<b>B2</b> いくつかの共通点を組み合わせて、新しい考え方を作ることができる。	<b>C2</b> 第9章の内容および探究型授業に関する問いを、批判的に考えることができる。		
礎	<b>A1</b> 教科書や配布資料をもとに、冷戦後の地域紛争やグローバル化の動きなどについて知っている。	<b>B1</b> この章で学んだ知識から、他の場合にもあてはまる共通点を見つけることができる。	<b>C1</b> 第9章の内容および探究型授業に関する問いを、論理的に考えることができる。		
				〈留意点・評価〉	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとに振り返りフォームを記入する。</li> <li>・PBL型授業から一定の割合を定期試験で出題する。</li> <li>・PBL型授業の評価は活動内容で行う。</li> <li>・個人作業の終了後は、3人から4人のグループ活動を適宜実施する。</li> </ul>	
知性・知識		応用・発展		創造的思考	